

市民助け合いネット

仲間通信

[第24号]

発行

NPO法人
市民助け合いネット

代表 片岡 興一

〒270-0121 流山市西初石4-370-93

☎・FAX 04-7153-5733

平成24年11月末現在の

私たちの仲間

総数 915名

(内訳)

提供会員 360名

利用会員 535名

「助け合い活動」の安定運営を目指して



「助け合い活動」は赤字構造

「市民助け合いネット」の最大の使命(ミッション)は「助け合い活動」です。歳をとって体が不自由になったり、病気になるったりしても、誰もが人間らしく生活出来るように、当会の「助け合い活動」で支援します。

年々、高齢者が増大している中で、「介護保険制度」だけでは、人間として尊厳のある生活は望めなくなってきました。「助け合い活動」は、この介護保険制度の隙間を埋める大切な活動として、地域にとつてなくてはならない活動となっています。

ところが、その「助け合い活動」はビジネスモデルではなく、ボランティアモデルのため財政は赤字構造で、節約の工夫を重ね、爪に火をともしような運営を行っています。毎月赤字となっています。

「市民助け合いネット」では、「助け合い活動」の安定して継続していくために、行政の業務を受託して収益を確保し、この赤字を補填しています。

市の「行政コスト削減」に寄与して収益確保

「公民館(初石・南流山)」の指定管理者契約更新へ

市民の生活や価値観の多様化、そして地方分権の波が近づいている昨今、地方自治の主権者である市民が市政に参加することが、市民満足度の高いまちをつくるために大切といわれています。

そのような時代の変化に対応すべく、流山市では今年十月「市民参加条例」が施行されました。この条例は二〇〇九年三月に制定された「自治基本条例」の第十六条(市民の市政への参加は別に定める)を受けたもので、これを機会に地域の課題発見やその解決策としての政策立案、そして政策の実施段階などあらゆる局面に市民が参加出来るようになりました。

流山市では、六年前の二〇〇六年から指定管

理者制度を導入して「市民参加」を促進すると共に、「市民サービス向上」と「行政コスト削減」を図っています。

私たち「市民助け合いネット」も、二〇〇八年から「初石公民館」と「南流山センター」の二か所の指定管理者に選定され、両館の運営を行ってきました。この契約は今年度で終了することから、今年十月に行われた来年度からの新しい契約の公募に応募し、書類審査、審査委員会へのプレゼンテーション審査の結果、指定管理者候補の認定を受けました。あとは十一月議会の承認を受けて、二〇一三年度からの新しい契約締結となります。

「公民館運営」と「助け合い活動」で『市民満足度の高い流市』づくり

「市民助け合いネット」にとって、公民館運営業務の受託は、行政への市民参加であり、流山市が目指す「市民サービス向上」と「行政コスト削減」のお役に立つ活動です。そして、これ得た収益で当会のミッションである「助け合い活動」の赤字を補うことにより、その継続性を財政面から補強しています。

今回も、ぜひとも指定業者に認定され、「公民館運営」と「助け合い活動」の二つの活動により、流山市が目指す『市民満足度の高い流山市』の構築に貢献したいと思っています。

市民助け合いネットが運営業務を受託している
初石公民館(上)と南流山センター(下)

第21回 流山ロードレース大会 出場者3000人・成功裡に終わる!

去る十月七日(日)「市民助け合いネット」が流山市から業務委託して総合マネージメントした第二十一回流山ロードレースが盛大に開催され、約二〇〇〇名のランナーが出場して市内を駆け抜け、大過なく終わりました。

おおたかの森駅前の公園のメイン会場で開会式を行った後、千葉銀行そばの交差点の西に行ったアトリエ「蔵」前をスタートし、南部中学校、京成ストア、流山街道・同旧道、東葛病院、クリーンセンター、コミュニティプラザから三輪野山を経てメイン会場に戻る一〇キロメートルのコースと、メイン会場周辺を周回する二キロメートル(ファンラン)コースで、午前十時にスタートしました。

当日は、小雨がばらつくあいにくの天気でしたが、気温が低かったためランナーには走りやすかったようです。優勝者のタイムは三〇分一四秒で、最終ランナーは八五分二五秒でした。

この大会は、毎回体育協会傘下の各種スポーツ団体をはじめ、その他のスポーツ団体、コミュニティスポーツリーダー会、スポーツ推進委員協議会、「助け合いネット」などが、半年にわたり準備し、開催当日は市民ボランティアと市役所職員が加わり、合計



参加したランナーの皆さん

六〇〇人が運営に当たりました。また、流山警察署、消防署、水道局、医師会、バス会社、地域住民など多くのご協力を得て全体的な行事として行われ、流山市の素晴らしさを、七〇%以上の市外の参加者にPRすることができました。ご協力いただいた団体、そのメンバーの方々と市民の皆様、ありがとうございました。

東北被災地の復興を応援します

「市民助け合いネット」では、東北被災地の復興を支援している団体「SAVE IWATE」が全国からいただいたタオルを縫って作った「雑巾」の販売支援をします。

被災地では復興がなかなか進まず、多くの方が将来への不安を抱えてつらい毎日を送っています。ふるさとを離れて周囲に知り合いがなく、不安を共有できずに気持ちが折れそうになっているといわれています。

当会でも、復興支援に協賛し、「雑巾」を販売します。「雑巾」は、1枚200円で買い取り、包装費、運送費など100円を加えて、1枚300円で販売します。事務所で販売しています。ぜひ、お求めください。

すでに89枚売れています。

「まちづくり人・人材バンク」を開設

「市民助け合いネット」が事業主体となつて、人材登録をしてくださいます。

「まちづくり・人材バンク」を開設しました。*「求められる人材」(例)

- ◇団体のイベントなどのスタッフ
- ◇公民館事業の手伝い
- ◇団体の会計処理
- ◇団体のホームページ作成
- ◇高齢者の生活や外出支援
- ◇その他

【求める団体】

前記と同じ用紙で必要な都度、同センターまでお申 込みください。

【問い合わせ先】

市民活動推進センター

8715014355

FAX 715018878

http://www.na-shimin.org

増加が続く「助け合い活動」

「市民助け合いネット」の使命(ミッション)の「助け合い活動」は、高齢者の増加と共に増え、提供者さんのご協力で、利用者さんの要望に順調に対応できています。今年四月〜十月には、提供者の皆さんが、延べ約三〇〇〇人の利用者さんに関わっており、その実績の内訳を左記のとおりご報告します。

事務所の

集年始のスケジュール

・年末 十一月二十八日まで営業

・年始 十一月二十九日から休み

・一月二日まで休み

・一月四日から営業

*サービス活動はこの限りではありません

- 車での外出支援 1,385件 (病院などへの送迎)
- 人的外出支援 466件 (買物同行、院内付添)
- 家事援助 719件 (掃除、片付けなど)
- 庭の手入れ 247件 (植木の剪定、除草)
- 犬の散歩 37件
- その他 179件

計 3,033件